

カヌー・スラロームセンター 管理棟



外観

「カヌー・スラロームセンター」は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、都立葛西臨海公園の隣接地に整備された。管理棟内には、艇庫やトレーニングルームなどを有する。



スラロームコース

国内初の人工スラロームコースは、東京2020オリンピック・パラリンピックでは、カヌー競技の会場となった。約200m、幅約10mの競技コース、長さ約180mのウォーミングアップコース、フィニッシュプールを有する。



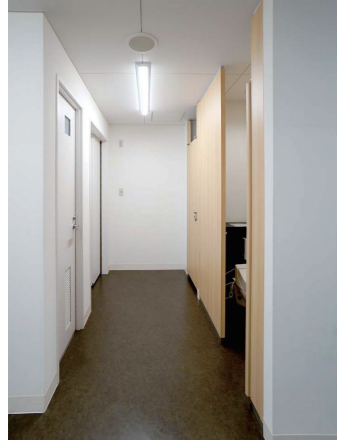
1F トイレ入口

1Fには、トイレおよびシャワー更衣室などを、男性エリア・男女共用エリア・女性エリアと並べて配置。サインは、大きなピクトグラムと色分けで表示している。



1F 男性トイレ
洗面・小便器コーナー

サインと同系色の色彩計画。洗面器の内1ヶ所は、お子様の使いやすさを考慮して低めに設置。小便器の足元には尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを採用している。



1F 男性トイレ
大便器コーナー

すべてのブースには、洋式便器とウォシュレットを設置。ウォシュレットのリモコンは、ボタンを押すたびに発電し、乾電池や電源工事が不要なエコリモコンを採用している。



1F 男性更衣室

車いす使用者が使用しやすい高さの洗面カウンターやロッカーを整備。洗面コーナーには、シングル混合水栓を採用し、冬でも温かいお湯が使えるよう電気温水器を設置している。



1F 男性シャワー室

4ブースあるシャワーの内、1ヶ所は車いす使用者も使用できる広さを確保。男性・女性ともに更衣室やシャワー室の設備は同仕様としている。



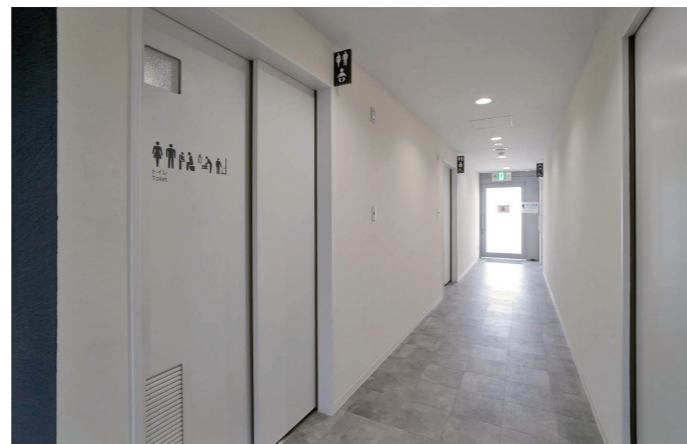
1F 女性トイレ

女性トイレは内装の色合いを男性トイレと変えている。また、男性・女性トイレともに、車いす使用者に配慮した広めのブースを1ヶ所設置している。



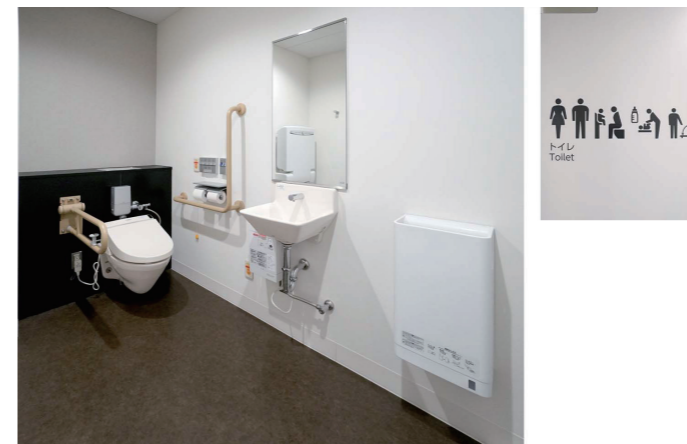
1F 女性更衣室

男性更衣室とは内装の色違いだけで、車いす使用者や小さなお子様が使いやすい配慮がなされた設備は同様としている。



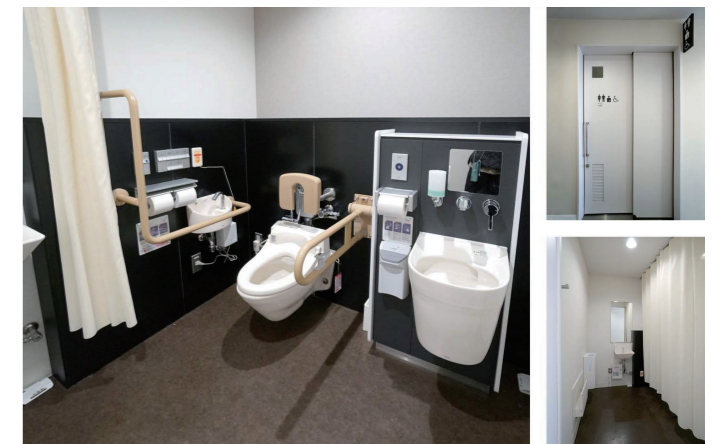
1F 男女共用トイレ入口

男性エリアと女性エリアの間に、男女共用トイレを3ヶ所設置。乳幼児対応、オストメイト、家族更衣室と3ヶ所それぞれに機能を分散しており、内部の設備がわかるように、各入口にピクトグラムを表示している。



1F 乳幼児対応トイレ

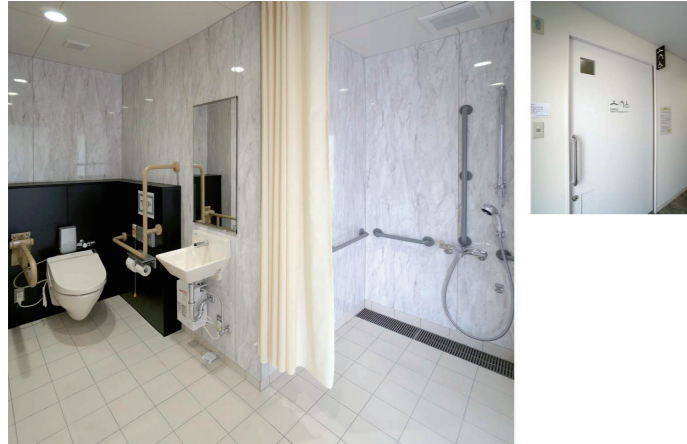
男女共用の各トイレは、すべて用足してから手洗いまでを個室内で完結。手前のトイレは、乳幼児様連れに配慮してベビーカーごと入ることができる広さを確保している。



1F オストメイト対応トイレ

奥のトイレは、車いす使用者やオストメイトに配慮したオストメイト対応トイレを配置。さらに介助者にも配慮し、プライバシーを確保できるカーテンと座って待てるベンチを設置している。

カヌー・スラロームセンター 管理棟



1F 家族更衣室

介助が必要な身体的マイノリティなど、男女別の更衣室の使用に抵抗がある方に配慮し、家族更衣室を設置。使用希望者は受付に申し出て鍵を開けてもらうしくみとなっている。



2F 男女共用エリア

会議室、トレーニング室がある2Fには、車いす対応トイレと広めの男女共用トイレ2ヶ所を設置。そのほか、ラウンジやコースを一望できる屋外テラスが設置されている。



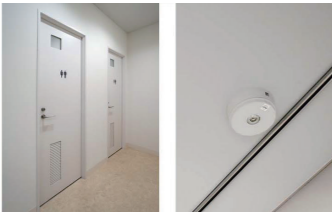
2F 男女共用トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーは、利用者が気軽に使用できるよう入口付近に配置。冬でも温かいお湯で手洗いでできる電気温水器付きの自動水栓や水石けん、クリーンドライ(ハンドドライヤー)を設置している。



2F 男女共用トイレ
大便器ブース

1Fの男女共用トイレ同様、カーテンとベンチを設置。さらに、建物内すべての大便器ブースには、聴覚障がい者に配慮し、災害などの有事を発光で知らせることのできるフラッシュライトを設置している。



2F 車いす対応トイレ

通路側に入口を配置し、車いす使用者に配慮した車いす対応トイレ。開口部を広く確保できる2枚引戸を採用している。



1Fトイレ図面

男性更衣室と女性更衣室の間に、乳幼児対応、オストメイト対応、家族更衣室と機能を分散して、男女共用トイレを3ヶ所設置。外部からアクセスできる男女共用トイレ、車いす対応トイレも設置している。



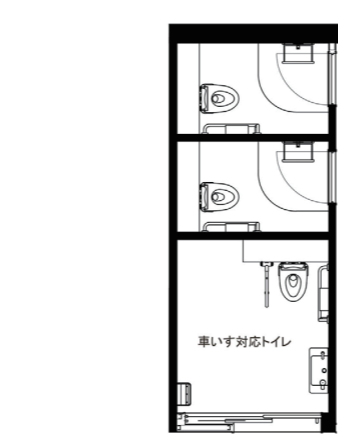
外部 男女共用トイレ

センターの建物外部には、水上競技施設側から直接入れる位置に、スペースを広めにとった男女共用トイレと、車いす使用者に配慮した車いす対応トイレを設置している。



外部 車いす対応トイレ

大人が横になれるサイズの多目的シートや、オストメイトに配慮したパウチ・しびん洗浄水栓付き背もたれなどの設備を完備している。



2Fトイレ図面

2Fはすべて男女共用トイレとしている。

水まわりの特長

建物の特徴

「カヌー・スラロームセンター」は、2019(令和元)年、都立葛西臨海公園の隣接地に整備された、国内初の人工カヌースラロームコース。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ではカヌー(スラローム)競技の会場として使用された。会場整備は組織委員会が策定した「Tokyo2020アクセシビリティガイドライン」が踏まえられ、障がいのある方や学識経験者からなる「アクセシビリティワークショップ」を設置。大会後の利用を見据えて、だれもが使いやすい施設にすることを目指し、さまざまな検討・整備が実施された。水上競技の国際・国内大会が開催され、アスリーの強化育成拠点であるとともに、広く水上スポーツ体験やラフティングなどの水上リクリエーション参加の機会を創出している。

水まわりの特長

水まわりに関しても「Tokyo2020アクセシビリティガイドライン」に沿って整備。「車いす対応トイレ」「異性介助に配慮した男女共用トイレ」「手すり付きトイレ」「オストメイト対応トイレ」「乳幼児対応トイレ」などが分散配置されている。サインに関しては、分散したトイレ機能の情報を、使用者がなるべく早くそしてわかりやすく入手できるように、各所にピクトグラムを表示して連続的に案内。色や文字を用いた案内は、弱視の方が認識しやすいようコントラストを確保している。大便器は幅広い利用者を想定し、すべてウォシュレットを設置。そのほかの器具も節水タイプの最新器具を採用。さまざまな利用者に配慮された、世界最高水準のユニバーサルデザインが実現した水まわり空間となっている。

建築概要

名称	カヌー・スラロームセンター 管理棟
所在地	東京都江戸川区臨海町6-1-1
施主	東京都
設計	バシフィックコンサルタンツ株式会社
施工	建築 高中建設株式会社 電気 文京電気株式会社 機械 アイエスアイ工業株式会社

竣工年月	2020年1月
敷地面積	75,775㎡
建築面積	852㎡
延床面積	1,223㎡
構造・階数	鉄骨造・地上2階

おもなTOTO使用機器

- フラッシュバルブ式便器:C550NU
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF552*AH系
- 棚付二連紙巻器:YH700AD
- 自動洗浄小便器:UFS900JCS
- 壁掛ハイバック洗面器:LSG125AN
- 洗面器:L5*系
- 台付自動水栓:TENA12F系
- 水石けん入れ:TS126BR
- クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
- コンパクトオストメイトバック:UAS81RDB2NB
- パウチ・しびん洗浄水栓付き背もたれ:EWCS801R
- パブリック用折りたたみシート:EWCS500RS